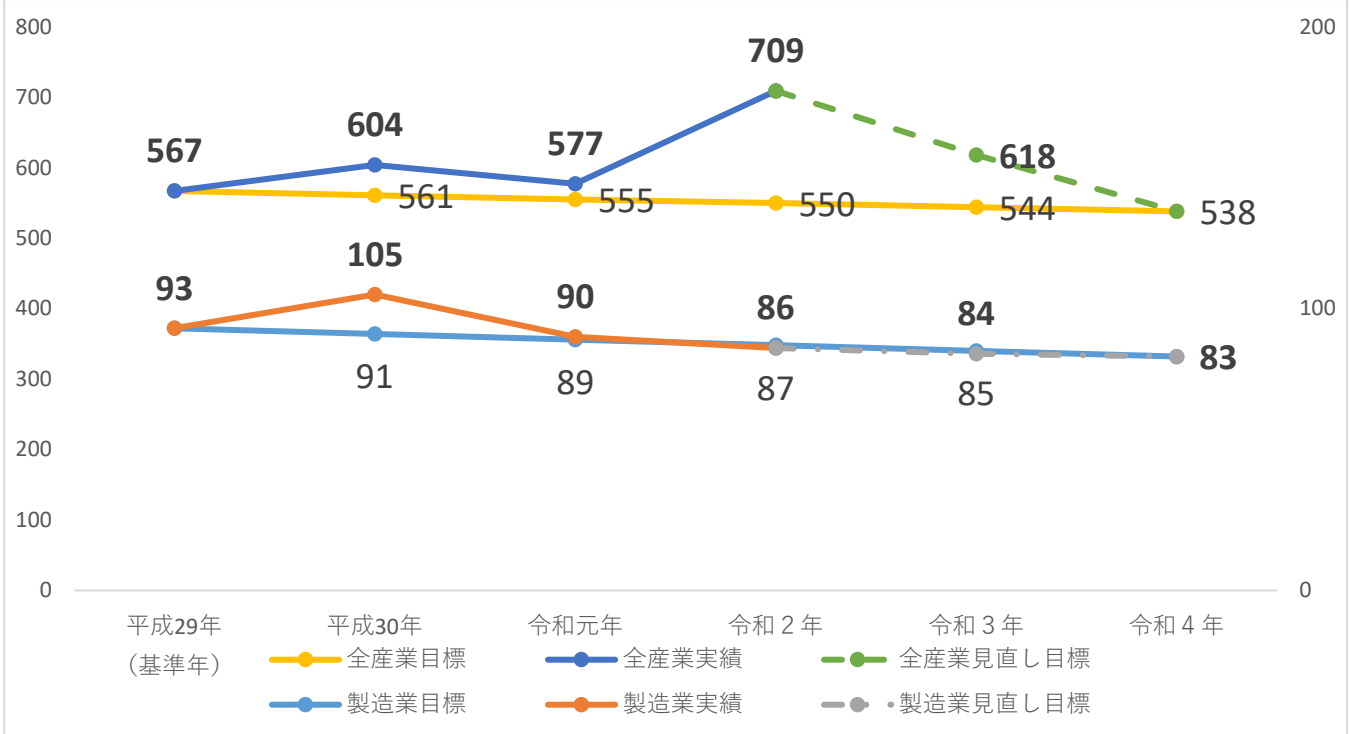


第13次労働災害防止推進計画の進捗状況 (製造業・令和3年4月)

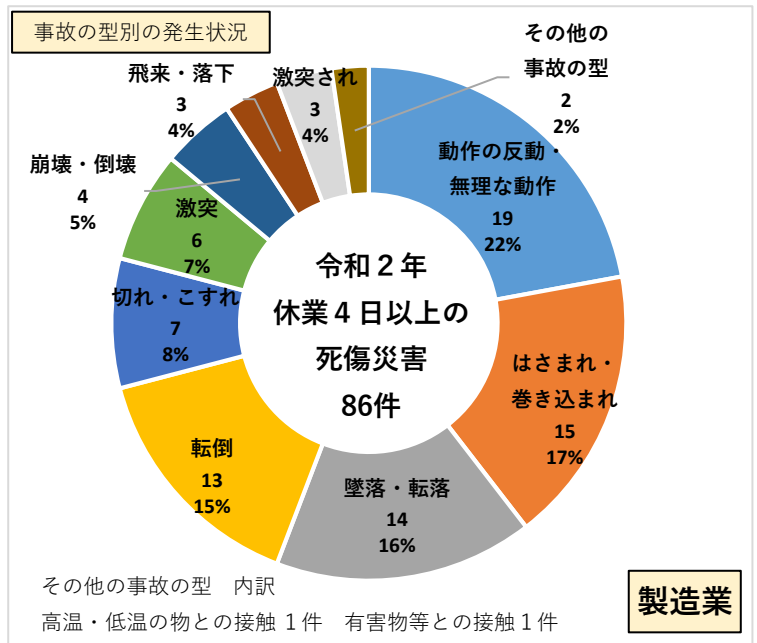
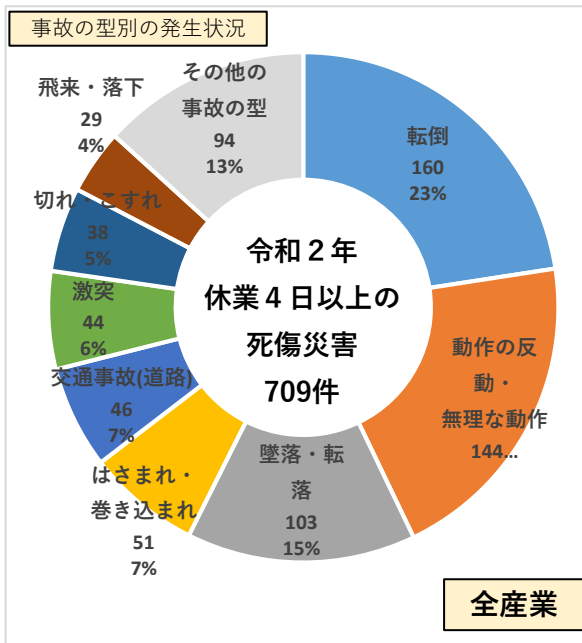


当署管内の製造業における第13次労働災害防止推進計画（以下「13次防」）については、休業4日以上死傷災害を平成29年の93件から令和4年に83件となるよう、10%減少させ、死亡災害については、13次防期間中の各年に発生がゼロとなるよう、事業場において各種の取組をお願いしています。

13次防の初年度となる平成30年は105件、前年比12件増加（12.9%増加）、2年目となる令和元年是90件、前年比15件減少（14.3%減少）となり、3年目となる令和2年は86件、前年比4件減少（4.4%減少）となりました。

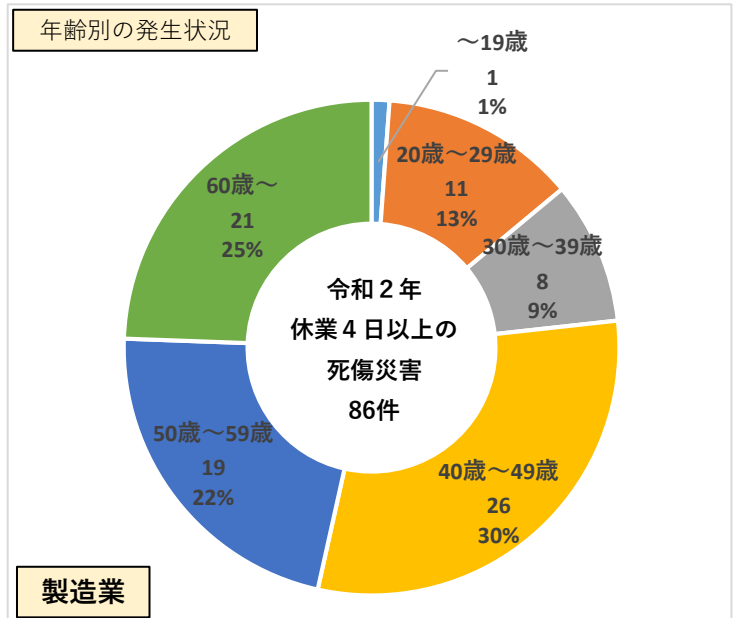
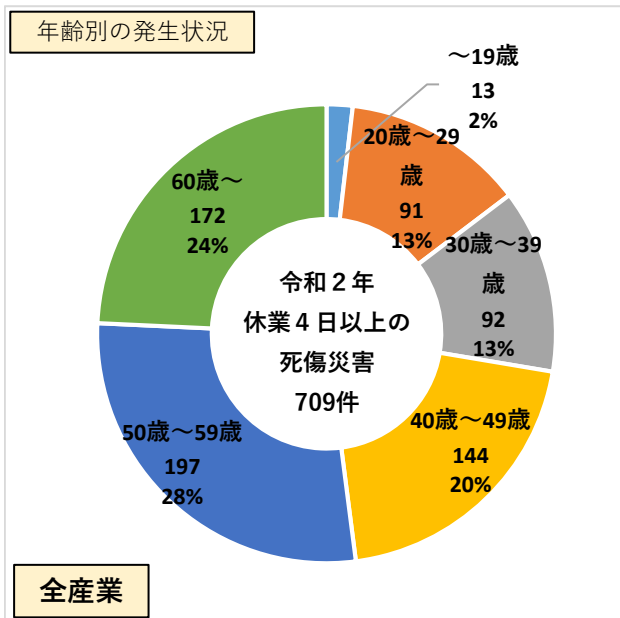
令和2年は、13次防の目標値である87件以下を達成することができました。また、3か年とも死亡災害については、13次防期間中ゼロで推移をしています。引き続き、各年2%減少させて目標達成を目指します。

業種別		第12次防期間中の死傷災害	平成29年死傷者数(基準年)	第13次労働災害防止推進計画								
				平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	令和4年	
				目標値	確定値	目標値	確定値	目標値	暫定値	見直し目標値減少率	見直し減少率	
全産業 (対前年増減割合)		2,831	567	5%減少	561	604	555	577	550	709	618	538
					-1.0%	6.5%	-1.0%	-4.5%	-1.0%	22.9%	-12.9%	-12.9%
製造業	死亡災害	4	0	15%減少	0	0	0	0	0	0	0	0
	死傷災害	469	93	10%減少	91	105	89	90	87	86	84	83
					-2.0%	12.9%	-2.0%	-14.3%	-2.0%	-4.4%	-2.0%	-2.0%



令和2年の休業4日以上事故の型別災害発生状況は、全産業では、転倒災害23%、動作の反動・無理な動作20%、墜落・転落15%、はさまれ・巻き込まれ7%の順で多い一方で、製造業では、動作の反動・無理な動作22%、はさまれ・巻き込まれ17%、墜落・転落16%、転倒15%の順となっています。

製造業で最も多い、動作の反動・無理な動作災害は、その多くを腰痛災害が占めることから、「職場における腰痛予防対策指針」の徹底を図っていただくほか、次いで、機械などにはさまれる、巻き込まれるといった災害が多いことから、機械の危険部分への覆いの設置等の対策や機能安全を活用した機械設備の安全対策の推進を図ってください。墜落・転落災害については、法令に基づく高所における墜落防止措置の徹底のほか、通路の段差の解消、階段での墜落防止を図ってください。転倒災害につきましては、引き続き、「STOP! 転倒災害プロジェクト」を参考に積極的な取組をお願いいたします。



令和2年における年齢別の休業4日以上労働災害発生状況では、高齢労働者が職場で活躍される状況も増えつつありますが、製造業では全産業に発生状況と比べて、40歳代の被災者が多い傾向にあります。

引き続き、「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を参考に高齢労働者に配慮した職場環境、作業の改善を進めてください。